

〔第172回明専塾（日鉄ケミカル&マテリアル株）〕 企業で『成長』し続ける姿

工学府物質工学専攻M1 押田 紗歩



はじめに

平成30年2月1日、戸畑キャンパスにおいて第172回明専塾が開催されました。今回は、日鉄ケミカル&マテリアル株のOB・OGの方々に講演していただきました。講演は、会社概要、若手社員の入社後の歩み方、女性技術者の働き方、そして若き技術者に期待すること、という内容でした。

日鉄ケミカル&マテリアルは、平成29年10月1日に、新日鉄住金化学株と新日鉄住金マテリアルズ株が経営統合することで誕生しました。新日鉄住金の化学部門で、コールドケミカル、化学品、機能材料、複合材料の事業を主に開発を行っている企業です。なかでも、機能材料事業における有機EL材料や、回路基板材料におい

ては世界を引っ張って行く存在です。

講演会

講演を通して「会社に入ってから成長の機会が多くある会社」だと強く感じました。自分で手を挙げれば、いくらでも成長の機会を得ることができ、自分の理想へ近づけていくことが可能なのです。就職で満足するのではなく、何歳になっても理想を求められる環境は、とても魅力的でした。また、女性技術者の方にも講演していただけたため、私自身の将



講演会の様子

来像そしてキャリア形成を想像することが容易でした。日鉄ケミカル&マテリアルでは女性も結婚や出産を経験した後も、復職してバリバリ働いている方が多くいました。そのような環境が揃っていることは、企業を選ぶ上で女性として重要な部分ですので、安心して働くことができると感じました。また、講演会の最後に、32年前に本学を修了された長谷部浩一氏（現 機能材料事業部 有機EL材料部 部長）にご講演いただきました。ジョブローテーションという言葉がなかった時から、多くの職種、事業を経験され、長谷部氏のような存在のおかげで、現在の社風ができたのだと実感しました。また、私たち学生に向けて「人間力」という言葉を残していただきました。人としての強さや忍耐力を鍛えることで、自分の意志ではない環境下でも、成果を出すことができるようになることです。自分自身に甘んじるなど、喝を入れられたような気持になり、これからの就職活動を頑張る糧となりました。

懇親会

懇親会では、本当に沢山のOB・OGの方に参加していただきました。参加学生が多すぎなかったため、じつくりとOB・OGの方とお話で

きました。仕事のことからプライベートなことまで、様々な話を聞くことができました。社員の方はとても気さくな方が多く、本当に楽しく会話できました。また、就職活動をするうえで悩みに対しても親身になって答えてくださり、とても感謝しております。今後も、OB・OGの方々と交流を大切にしていきたいと思いました。

最後に

お忙しい中、ご講演いただきました長谷部浩一氏をはじめとした日鉄ケミカル&マテリアル株の社員の皆様と、このような貴重な機会を設けてくださいました明専会の皆様に、心より感謝申し上げます。



懇親会の様子